



平成24年 夏号 第161号  
北里研究所病院だより

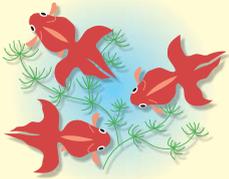


目次

病院長のご挨拶……………P1  
ナースのおしごと……………P4  
看護の日……………P4  
新任医師紹介/退職医師紹介 ……P4

特集 肝臓病センター … P2~3

1. 肝臓病センターのご紹介
2. ウイルス性肝炎の治療
3. 肝細胞がんの診断
4. 肝細胞がんの治療
5. 非アルコール性脂肪肝炎 (NASH)



北里研究所は北里柴三郎先生により、大正3年、港区白金の地に創立され、平成26年には100周年を迎えます。また平成24年度は、明治26年に福澤諭吉先生のご支援により北里先生が設立された当院の前身である「土筆ヶ岡養生園」から120周年、研究所50周年事業で創立された北里大学は50周年を迎えます。

私は、平成10年9月よりおよそ10年間当院の病院長を務め、その後北里大学と統合し学校法人北里研究所として新しくスタートした平成20年4月からは、学校法人の常任理事として白金キャンパス北里研究所病院、東洋医学総合研究所、臨床薬理研究所を担当してまいりましたが、この度、あらためて北里研究所病院の病院長を拝命いたしました。このような節目の時期にふたたび病院長を務めさせていただくことは光栄なことであり、その役目は大変重いものと肝に銘じております。

北里研究所の定款には、「医学に関わる研究、診療、教育は一体のものであり、深く関連しながら共に進歩していくことが重要である」と謳われています。さらに北里先生は「摂生は本にして治療は末なり」と、医療は疾病の予防が重要で、治療は末であるとまで述べ、また慶應義塾大学医学部建学の精神を「我等の新しき医科大学は、多年医界の宿弊たる各科の分立を防ぎ、基礎医学と臨床医学との懸隔を努めて接近せしめる方針である。学内は融合して一家族の如く、全員挙って斯学の研鑽に努力するをもって特色としたい」としています。これらは北里先生の医療における基本理念であります。

当院では北里先生  
の理念に基づき、平成11年5月に新病院開院の際、病院理念として「心ある医療の実践」を掲げ、臨床(診療・予防)、研

病院長のご挨拶

究、教育の3本柱(後に危機管理が加わり4本柱となる)を基本方針と定め、診療面では「予防医学」「患者さま中心のチーム医療」等を推進してまいりました。特に「センター系医療」(肝臓病や腫瘍センターなど特定の疾患に対して複数の診療科・部門が協力して、先進的かつ包括的な医療を提供できる体制)と「課題別医療チーム」(緩和ケア、栄養サポート、感染対策など特定の課題に対して各医療部門が協力してチームを編成し、医療の充実を図る体制)を組み合わせた「チーム医療」は当院の特徴であり、昨年度発刊した、日本で初となるチーム医療の教科書「実践-チーム医療論- (医歯薬出版)」に当院の医療チームが執筆させていただきました。今後も「北里研究所病院における医療そのものが真のチーム医療」と皆さまから高い評価を受けるように研鑽してまいります。



病院長  
土本 寛二

また、白金キャンパスには北里研究所病院に加え東洋医学総合研究所(WHO伝統医学協力センター)、臨床薬理研究所(臨床研究・試験施設)のほか、薬学部、生命科学研究所など多くの先進的医療・教育・研究機関が併設されています。これら各部門の自立性を保ちながら、より高度で緊密な連携を図り、北里研究所発祥の地・白金を核として「総合メディカルタウン構想」のもと、北里医学の飛躍を目指します。

最後に、北里研究所病院は「開拓精神を持ち、常に進化する」ことをモットーに掲げており、今後も全職員の力を結集し、患者さまとその家族の皆さま、つくし会をはじめとする企業や経済同友会などの団体、健康友の会、ボランティア会の皆さま、関連企業の産業医、医師会、薬剤師会の先生方のご支援並びにご指導を仰ぎながら、社会から選ばれる病院を創る所存です。



Kitasato 100×50

Pioneer the Next

次代も、生命を育む

科学の先駆者であるために

私たちは、新たな一歩を踏み出します

# 肝臓病センター



肝臓病センター長  
常松 令

## 1. 肝臓病センターのご紹介

当院の肝臓病センターは北里研究所肝臓病センターの臨床部門として昭和58年に院内に開設されました。北里研究所肝臓病センターは昭和62年から約20年にわたりWHOウイルス性肝炎研究協力センターとしての指定を受け、肝炎ウイルスワクチンの開発並びに製造等で社会に広く貢献してきた実績あるセンターで、当院肝臓病センターはその臨床部門として日常臨床の一線を担ってきました。現在、肝臓病センターは土本寛二病院長のもと、常松、井口の3名の肝臓専門医で日夜、臨床はもとより、研修医・学生教育、肝炎・肝がんの研究を行っています。

## 2. ウイルス性肝炎の治療

肝臓は代謝の要であり多岐にわたる疾患がみられますが、現在多いのは、やはりウイルス性肝炎です。近年、抗ウイルス薬の開発が進み、治療も10年前とは隔世の感があります。現在慢性C型肝炎のゲノタイプ1B高ウイルス量の患者さまでもテラプレビルという飲み薬とリバビリンという飲み薬、ペグインターフェロン製剤の皮下注射の併用により、より高い治療率が得られるようになっています。また、あと数年で新しい治療薬が何種類か使えるようになれば、インターフェロンの注射をしなくても飲み薬だけで治療ができるようになると考えられています。慢性B型肝炎にも新しい経口抗ウイルス薬が使えるようになっており、肝炎を鎮静化しやすくなりました。

## 3. 肝細胞がんの診断

肝炎が肝硬変症にまで病状が進行すると、肝細胞がんが肝臓に出現しやすくなってきます。当院では昨年より、病変部描出力の優れた最新鋭の腹部超音波診断装置を導入しました。この機械はソナゾイドという超音波用の造影剤を検査中に患者さまへ静脈内投与することにより、



造影エコー

初期の肝臓がんの発見に大変優れた効果を現わします。この腹部超音波診断装置を使用し、CT、MRIを併用することにより、病変の位置と広がりを治療前により正確に把握できるようになりました。

## 4. 肝細胞がんの治療

肝細胞がんは局所治療としてPEIT（経皮的エタノール注入療法）やRFA（ラジオ波焼灼療法）を行います。いずれも、前述の腹部超音波診断装置を使用して、皮膚から肝臓に直接針を刺して、腫瘍を治療する方法です。当院ではどちらの治療も治療経験豊富な肝臓専門医が行っており、他病院からの医師も当院に治療研修にきています。



定位放射線照射装置

また、放射線治療科では肝細胞がんに対しTACE（経肝動脈腫瘍塞栓術）を行えるほか、4月からは新規に定位放射線照射装置を導入し、腫瘍に十分な放射線治療を行いながら、腫瘍周囲の正常組織にあたる線量を極力少なくできるStereotactic Radiotherapy (SRT)も行えるようになりました。

化学療法分野においても、分子標的薬ネクサバールの使用経験も豊富で、肝細胞がんの治療において国内最高の技術と知識を持って治療に当たっています。



腹部超音波診断装置

## 5. 非アルコール性脂肪肝炎(NASH)

近年、アルコールを付き合い程度に飲まれる方でも、アルコール性肝炎様の肝障害をおこし肝硬変にいたる、NASHという病気が注目を浴びるようになりました。原因はまだわかっていませんが、脂肪肝がこの病気の引き金の一つと考えられています。当センター井口医師は、米国でNASH研究を専攻し、昨年日本に戻ってまいりました。今後、NASH患者さまの専門外来を開設する予定で、NASHの治療研究の中核として当センターでの活躍が期待されています。

以上、肝臓病センターでの活動の一部をご紹介しました。  
肝臓でお困りのことがあれば、是非当科外来にお越しください。

■リビンゲウイルスセミナー  
日時 平成24年8月4日(土)  
午前10時00分～午前12時00分  
場所 4階AB会議室  
定員 20名  
受講料 2,000円(税込)  
※テキスト代を含みます  
申込方法  
TEL03-5791-6345  
(予約センター)  
講義内容  
①リビンゲウイルスについて  
②延命治療について  
③北里研究所病院終末期医療ガイドラインについて

■薬膳料理講習会  
日時 平成24年7月7日(土)  
午前10時00分～午前11時00分  
場所 4階AB会議室  
定員 20名  
受講料 5,000円(税込)  
※材料費・資料代を含みます  
申込方法  
TEL03-5791-6345  
(予約センター)  
当院で実際に提供している薬膳料理を、ぜひ皆さまにも身近に知っていただくべく講習会を開催いたします。この機会に是非ご参加ください。

■ロコモ教室  
★ロコモとは…骨、関節、筋肉、神経などの運動器が加齢や痛みのため、運動不足に陥り、生活に支障をきたす状態をロコモ症候群(運動器不安定症候群)と称しています。  
日時 平成24年9月24日(月)  
午後2時00分～午後3時00分  
場所 4階AB会議室  
受講料 1,050円(税込)  
対象 どなたでも参加できます  
内容 ①ロコモとは ②骨粗鬆症 ③骨と関節の加齢変化 ④ヒアルロン酸 ⑤骨粗鬆症を予防する食事 ⑥トレーニングとその他  
講師 スポーツ医学センター長 阿部均、管理栄養士、トレーナー  
申込方法  
TEL03-5791-6345  
(予約センター)

■生活習慣病教室  
日時 平成24年7月14日(土)  
午前10時00分～午前11時30分  
場所 3階予防医学センター  
定員 30名  
受講料 無料  
申込方法  
TEL03-5791-6146  
(予防医学センター)  
★1階中央受付・2階中央受付でも承ります☆  
予防医学センターでは、一般の方々に生活習慣病をより良く理解して頂くため、生活習慣病予防教室を開催しております。ふるってご参加下さい。

■港区健康診査のお知らせ  
(港区在住で40歳以上の方が対象です)  
期間 平成24年7月2日(月)～平成24年11月30日(金)  
場所 2階港区健診受付  
時間 午前8時30分～午前11時00分  
※月曜日～金曜日の平日  
定員  
一般健診については定員なし(当日受付)  
※胃がん乳がん子宮がん検診については定員がありますので、ご希望の方はお早めにご来院ください。乳がん子宮がん検診はお電話での予約も受付しております。  
持参物  
①港区の受診券(事前に区より送られてきます)  
②診察券(お持ちの方)  
③健康保険証  
※港区の受診券がないとご受診できませんのでご注意ください。  
☆詳しくは当院の港区健診担当までご連絡ください。  
お問い合わせ先  
TEL03-5791-6325  
(港区健診受付)



# ナースのおしごと

## がん看護専門看護師 荻原修代(腫瘍センター)

患者さまとご家族に対して、がんの診断期・治療期・安定期・再発・終末期など全てに、いつでも対応させていただきます。病院内のあらゆる場所にお伺いすることができます。がん相談窓口や緩和ケアチームにも属しており、治療やその副作用の対応方法、病状などの告知や心配ごと、患者さまとご家族と医療者の円滑なコミュニケーション、亡くなることについて、多職種と協力して、よりよい方向に向かうようにご一緒に考えてまいります。



## がん化学療法看護認定看護師 上田知美(腫瘍センター)

日本人の2人に1人はがんにかかるといわれています。「がん化学療法」は手術療法・放射線療法と並んで重要ながん治療の一つです。毒性の強い抗がん剤を安全・確実に投与し、最小限の苦痛で最大限の治療効果が得られるように援助しています。長期にわたる治療経過に伴い不安や副作用が増すため、患者さまの思いを聞き逃さず、主治医とともにQOL(生活の質)を尊重した適切な対処ができるように配慮します。また、看護スタッフが専門的知識と技術をもって看護できるように指導や相談活動も行っています。



# 看護の日

皆さまはご存知でしょうか?毎年5月12日は「看護の日」です。フローレンス・ナイチンゲールの誕生に由来し、「看護の日」と制定されました。例年全国で看護に関する各催しが実施されています。

当院では5月10日から16日までの期間を「看護週間」と称し、看護師のお仕事について少しでも知っていただけるように、様々なイベントを行いました。

特に、毎年恒例になっている正面玄関での無料医療相談には、たくさんの方が足を運んでくださいました。また、ご希望の方にはアロママッサージも提供しました。「マッサージが気持ちいい」「いい香りに癒される」と、多くの方がとてもリラックスしていました。

今年からは病棟ごとにテーマを設けて講習会も開催し、イベント初日には、10階病棟で「誤嚥性肺炎の予防」のための口腔ケアグッズと栄養サプリメントについて紹介したところ、大変好評をいただきました。

その他の病棟でも身近なテーマを中心に看護師のお仕事に触れていただき、とても活気に溢れた催しとなりました。来年はもっと色々なイベントを企画し、皆さまにご参加いただけるよう、工夫をいたします。

- 1階正面玄関 「無料医療相談、アロママッサージ」
- 5階病棟 「感染予防 正しい手洗い方法」
- 6階病棟 「肝臓チーム相談会」
- 7階病棟 「傷のお話」
- 8階病棟 「杖、松葉杖の使い方について」
- 9階病棟 「骨盤低筋体操の実演、指導」
- 10階病棟 「誤嚥性肺炎の予防」

正面玄関▶  
「アロママッ  
サージ実演」



8F病棟「杖、松葉杖の使い方」▶



▶正面玄関の様子



▶7F病棟「皮膚排泄ケア  
看護師による「傷のお話」



# 新任医師紹介

平成24年4月1日付



神経内科 部長  
濱田 潤一  
(はまだ じゅんいち)



整形外科 医長  
金子 博徳  
(かねこ ひろのり)



整形外科 医長  
辻 崇  
(つじ たかし)



リウマチ科 医長  
田中 淳一  
(たなか じゅんいち)



外科 医長  
関 大仁  
(せき ひろひと)



外科 医員  
四倉 正也  
(よつくら まさや)



麻酔科 医員  
長塚 行雄  
(ながつか ゆきお)



麻酔科 医員  
増田 清夏  
(ますだ さやか)



麻酔科 後期研修医  
平畑 枝里子  
(ひらはた えりこ)



総合内科 後期研修医  
田畑 尚吾  
(たばた しょうご)



総合内科 後期研修医  
赤池 智子  
(あかいけ ともこ)



総合内科 後期研修医  
吉田 美和子  
(よしだ みわこ)

# 編集後記

夏のつくしんぼはいかがでしょうか?お気づきの方もいらっしゃると思いますが今号より新しく連載がスタートしました。第1弾は「ナースのおしごと」として専門・認定看護師の紹介を全4回にわたり掲載する予定ですので楽しみにしてください。

さて、話は大きく変わりますが今月末からロンドンオリンピックが開幕します。スポーツ好きな私にとっては楽しみです。より多くのメダルを獲得し明るいニュースをたくさん届けてほしいものです。(栗山)



前期研修医  
福井 崇大  
(ふくい たかひろ)



前期研修医  
志村 壮一郎  
(しむら そういちろう)



前期研修医  
寒河江 ひとみ  
(さかえ ひとみ)



前期研修医  
葛岡 春美  
(くすおか はるみ)

# 退職医師紹介

平成24年4月30日付  
整形外科医長

三宅 敦(みやけ あつし)

URL <http://www.kitasato-u.ac.jp/hokken-hp/>

皆様のご意見をお待ちしております。